若葉だより 創刊号

平成28(2016)年11月
発行　若葉校区自治協議会

校区の方向性などを協議

自治協議会　会長　竹山　芳樹

今回の地震で被災された方々に対し、お見舞い申し上げますとともに、若葉小学校避難所で奉仕活動をされた方々に深く感謝申し上げます。

さて、自治協議会は、各町内自治会、各種団体との連絡調整を行う機関で、各会の会長で構成されております。定例会を年５回開催し、前回の活動と次回の予定を報告、イベントなどの打ち合わせ、校区の方向性、問題点などを協議しております。

主催行事としては、①現役の医師にお願いして、年４回の「健康講座」を各町内持ち回りで行っており、②「防災訓練」は毎年 11 月に行っておりますが、今年は諸般の事情により中止いたしました。来年からはより実践的な防災訓練になるよう見直しを進めています。

新しい試みとして「若葉だより」を発行することといたしました。ご一読下さい。

校区住民の健康づくりを

社会福祉協議会　会長　桑原　文吾

機関紙「若葉だより」の発刊おめでとうございます。

若葉社会福祉協議会は役員４人ですが、「ふれあいサロン」、「バス日帰り旅行」など校区住民の暮らしと健康づくりを念頭に、安心・安全な地域福祉活動に努めております。

事業内容のひとつ「ふれあいいきいきサロン」は毎月第４火曜日午前９時30分から11時30分まで、年11回実施（８月は休止）。70歳以上の１人暮らしの方々には年１回「バス日帰り旅行」、民生児童委員子育てサークル活動支援を年11回、さらに高齢者福祉に対する活動支援を随時行っております。また、介護予防サポーターが４月より２人増員され、３人の方が活動しています。今後は内容のいっそうの充実を図り、取り組んでまいります。

これからも社会福祉協議会をよろしくお願い致します。

違反ゴミが悩みのタネ

第１町内自治会　会長　荒木　栄三

１町内会長の荒木です。

今秋、最も大きな行事である敬老会の記念品の準備に取り組んでおりましたが、９月17日に全て配布を終わり、一安心しているところです。要望されていた外灯のLED化の申込も締め切り、あとは工事開始を待つのみとなりました。大きな悩みは、ゴミステーションへの違反ゴミが多いことです。これを何とか減らす方法はないかと頭の痛い毎日です。良いお知恵があればご伝授下さい。

和気あいあいの小町内

第２町内自治会　会長　後藤マツエ

私達の２町内は、サンリブ健軍、パチンコU・ネクストを含む健軍商店街〈ピアクレス〉に隣接した町内で、約22軒で構成され、ほとんどの方が何らかの役員を受けもち、出店も含まれた和気あいあいの小さい町内です。新年会、敬老会、運動会、それに年度初めの町内総会が主な行事ですが、毎回賑やかな宴会が好評です。どうぞ、よろしくお願い致します。

２町内と連携して活動

第３町内自治会　会長　古閑　勝徳

このたびは、若葉自治協議会機関紙の発行、誠におめでとうございます。

義父の代から若葉に住み、地域で自営業を営みながら、昨年より町内会長を拝命いたしております。

私達の３町内は健軍商店街に程近く商店が多く個人居住世帯が少ないため昨今の少子・高齢化の影響で、この数年の地域行事の際などはお隣の２町内さんとともに連携して参加してまいりました。しかし、このたびの熊本地震でサンリブ健軍店の被災や商店の閉鎖などで世帯の減少があり、今後は２町内さんと合同で一体となって活動していく予定です。

商店などの再建など、今後の地域復興を目指しながら、この機関紙のますますのご発展と、皆様のご活躍を祈念申し上げます。

校区内一番の大所帯

第４町内自治会　会長　中村　徳男

まずは自己紹介を致します。私、中村徳男は 67 歳、うお座。職業は農業と建設業です。趣味は犬との散歩で、毎朝１時間 30 分ほど水稲の出来具合を見ながら田んぼの回りや公園を歩くのは最高の気分です。

私達の町内は、若葉校区の中で一番世帯数が多く面積も広いためいろいろと大変ですが、役員の皆さん達と連絡を取り合い相談しながら町内運営に当っています。町内には雨宮神社が鎮座し、この神社の祭りが 10 月には３回催されます。歴史のある祭りなので、ぜひご覧になって下さい。

広報紙の末永い愛読を

第５町内自治会　会長　武原　富雄

孫「じいちゃん、何書いてるの」、富「うん、今度初めて若葉校区自治会が広報紙を出すから、その原稿を書いているんだよ」。

孫「広報紙ってな～に？」、富「若葉校区の皆さんが、いろんな要望や、俳句、短歌、川柳などを広報紙で発表してもらう。それから自治会からのお知らせや行事、お願いなどを知ってもらうんだ。また、４月の熊本地震で物心両面で被害を受けた方々が一日も早く元気になるように、一歩でも前に進まれるようにお手伝いするのも広報紙の役目だよ」

孫「じゃあ被災者の人が早く元気になるよう、私もお祈りするね」、富「うん、じいちゃんも同感だな」。

若葉校区自治会の皆様が広報紙を守り、校区民の皆様が末永く愛読されることを願っています。

狭いながらも楽しい団地

第６町内自治会　会長　竹山　芳樹

６町内は市営若葉団地だけの町内で、狭い空間に140 世帯あまりが生活しています。狭いが故にほとんどが顔見知りで交流を深め合い、つながりを大切にしています。今回の地震では、多くの方が団地集会所に避難しましたが団地有志による炊き出しや、安全確保のため夜中も交替で避難所を警備しました。苦楽をともにすることでこの大震災を乗り越えることができ、地域の絆がさらに強まったことと思います。有難うございました。

団地では、毎月第２日曜日に一斉清掃を行っており、花や樹木も植えられ緑も多く、キレイな環境づくりに住民の深い関心が寄せられています。

老人会「さくら会」が結成されて今年で 10 年を迎え、日帰り旅行、誕生会、いろいろな企画で会員一同元気に参加しています。

役員の世代交代が課題

第７町内自治会　会長　村手　藤蔵

私たちの町内は、健軍商店街を南に向かい動物園通りを渡った東側の一角でマンション、市営団地や商店から成り、健軍文化ホール、ディサービス若葉苑も町内にあります。南東には栄町公園があり、憩いの場となっています。

最近、自衛隊官舎と農政局寮が空家となり、その有効利用がどうなるか気になるところです。世帯数も 150から110と減少し、若い世代と高齢者の交流が難しく、役員の世代交代も緊急課題です。以前、６町内などの応援を得て ７ 町内主催の防災訓練を栄町公園で行いましたが、今回の地震ではまとまりを欠いて混乱し反省しています。

私も最近は薬の厄介になることが多く、会長の重責に耐えがたくなりつつありますが出来る限り頑張るつもりです。

震災で自治会活動も停滞

第８町内自治会　会長　戸高　敏則

８町内は４月の震災で多くの方々が被災され、今だに自宅に帰れない世帯も多く、数名の役員が被災されて活動が出来ないのが現状です。

震災後、私は町内の状況確認を急ぎ小学校避難所に物資調達に行きましたが、思うように貰えず、後日、区役所に問い合わせ、また２・３町内会長とも相談し＜老人憩いの家＞に仮避難所を設立。子供会役員の方々の応援で物資を持って全所帯に配布していただきました。私は、家族や近所の方々に仮避難所の運営をお任せしながら小学校の避難所運営に参加しました。２カ所の避難所と家業の掛け持ちでしたのでたいへんでしたが、いろんな方との交流が出来、お話を交わしたのが良かったと思います。この経験を無駄にしないよう頑張りたいと思います。

防犯灯のＬＥＤ化を推進

第９町内自治会　会長　畑原　昭久

９町内は若葉小学校南側に東西に長く、東は秋津、西は広木に隣接しています。世帯数は226戸、住人は662人です（28年４月熊本地震前）。

活動団体は自治会（役員４人）、公民館（同５人）、自主防災クラブ（同３人）に加えて老人会、子ども会があります。熊本地震の際にはこれらの役員により避難所運営や炊き出しに交替でご苦労をお掛けしました。

自治会の主な事業は①災害時要援護者登録推進（21世帯23人登録済）、②命のバトン配布（90世帯143人に配布済）、③住宅用火災警報器の自治会斡旋による設置(63世帯133個設置済)、④本年度から防犯灯のＬＥＤへの取替え事業を計画（41 灯）などです。

地域活動のよりどころとして

若葉地域コミュニティセンター長　古閑　勝徳

私は、若葉校区で昭和 47 年から自営業の傍ら、校区の体育協会、まちづくり委員会などの会長をさせていただき、現在は若葉コミュニティセンター長を拝命いたしております。

４月の熊本地震では地域の皆様におかれましても大変だったこととお見舞い申し上げます。コミュニティセンターでも、器具の破損などの後片付けを役員で行い、役所と協議の結果、教室の休止や被害者への室内の開放などを行いました。地震の際の想定、準備不足を痛感させられた毎日でした。６月より各教室の利用開放や催しも再開されてきましたので、地域のよりどころとして活動できるよう皆様のご利用、ご来館をお待ち申し上げます。

今年は主催事業として、毎週火曜日に囲碁・将棋クラブ教室を開催いたしております。お時間がございましたら、覗いてみてはいかがですか。

住民とのふれあいを図る

公民館連合会　会長　芳賀　俊充

4 町内公民館は、地域の皆様が楽しく学ぶ活動の場として利用されております。11人の役員が各種行事に役割分担で協力し合っています。

毎月第1、3金曜日の健康体操（東区こども福祉課協賛）は、講師の西町様の指導により多くの皆さが楽しい汗を流しています。懸念された9月の敬老会(70歳以上)も無事に開催でき、余興の歌や踊りに盛り上がり、楽しい一日でした（裏方のお手伝いは役員の奥様方が活躍されました)。11 月の健康ファミリーウォークは、子供からお年寄りまで自由に参加できる一大スポーツイベントです。雨宮神社を出発・到着地として、江津湖公園を2コースに分かれてゆっくり歩いて一周するものです。

住民とのふれあいを図りながら、「人づくり・地域づくり」に貢献できるよう活動します。

夏祭りをメーンに活動

まちづくり委員会　会長　猿渡　秀和

まちづくり委員会は、地域住民の心のふれあいを目指した＜まちづくり＞を目標に社会貢献をするとともに、校区の今後を語り合い、実現できることから実践していくことを目的にした団体です。

主な活動としては、毎年 8 月に若葉小学校校庭で開催している校区夏祭りがメーンです。今年は熊本地震のため開催することは出来ませんでしたが、昨年は「若葉しあわせ町内会」という校区オリジナルの夏祭り踊りが完成し、参加した皆さんに楽しく踊っていただきました。今後はこの踊りを多くの人に覚えてもらい、校区を代表する踊りになればと願っております。

今後も、各種団体役員の皆さんと協力しながら、校区の発展に貢献できればと思っております。よろしくお願い致します。

スポーツを通じて地域に寄与

体育協会　会長　佐々木俊和

若葉体協は、「校区内のスポーツの振興を図るとともに、明るいまちづくりに協力すること」を目的に、各種団体と連携して、校区、東区、熊本市のスポーツに関する行事への参加と企画、主催を行っています。

今年前半は、熊本地震の影響で小学校のグランド、体育館の使用が出来ませんでしたが、後半はできる限りの行事を計画し実行していきたいと思います。

スポーツを通じて地域のコミュニケーションの形成と、健康づくり、明るいまちづくりに寄与していきたいと思いますので、校区の皆様の積極的なご参加とご協力をお願い致します。

安心安全なまちづくりを目指して

防犯協会　会長　室屋　　諭

私、室屋諭は平成 16 年 5 月自衛隊退職後、19 年に若葉防犯協会会計となり、28 年7月に防犯協会会長の大役を担うこととなりました。防犯協会は現在、11 人中2人が他所に避難中で9人で活動しております。

今年の夏は校区内防犯パトロールを昼6回、夜5回の 11 回実施。現在は小学校低学年の下校時にパトロールを月3回実施しております。今後は、年末警戒パトロールと、来年 1 月より下校時防犯パトロールを月3回計画しています。このほか、のぼり旗取替え、違犯広告物などの監視と早急な除去など校区美化に努め、安心安全なまちづくりに取り組みます。

また、各町内におかれましては、清掃や散歩にあわせて低学年児童の下校時には、交通安全の見守りをお願いしたいと存じます。

青少年の健全育成にご協力を

青少年健全育成協議会　会長　東　秀一

青少年健全育成協議会（青少協）では、学校、ＰＴＡ、校区内各種団体と連携しながら主に小・中学校の児童生徒、保護者の方々と活動しております。さわやかフェスティバルや一日一汗運動、あさひば凧あげ大会など広く地域全体を対象とした行事がありますので、どなたでも気軽にご参加いただけます。ブログに行事予定を掲載しています。Yahoo!検索して「若葉校区青少協」でご覧下さい。

今後とも青少年の健全育成にご理解とご協力をお願い致します。

交通安全の高揚図る

交通安全協会　会長　峯山秀次郎

校区の皆さんこんにちは！　私は交通安全協会長の峯山です。

交通安全協会は熊本市東地区交通安全協会若葉支部として活動しています。支部には私を含めて6人の交通指導員が地域における安全安心な交通環境の醸成と、児童生徒の通学時、校区内の各種行事、保育園・小学校行事は勿論のこと地方自治体からの要請にも出動しております（27 年度活動実績 118 回)。このような街頭活動以外にも交通安全教室開催、機関紙やチラシの配布などを通して交通安全意識の高揚を図っております。

これからも地域の皆様にとって交通事故のない、安全安心な生活環境を提供できるよう頑張ってまいります。皆様方のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員減少が悩みの種

老人クラブ連合会　会長　安部　勝人

私、安部は若葉校区に居を構えて50年、退職後は町内、校区の多くの方にお世話になり、ありがたく感謝申し上げます。

若葉校区老人クラブ連合会の構成ならびに活動について紹介させていただきます。校区内９つの町内には７つの老人クラブがあり、会員数は男133人、女190人の合わせて323人（平成28年４月現在）から成っております。

主な活動は、若葉小との係わりが多く、緑化ボランティア（樹木の剪定、草取り）、６年生とのグランドゴルフ、１年生との昔遊び&ふれあい給食会などがあり、このほか下校時の見回りなどで児童とのふれあいを多くもっております。

７つの単老ではそれぞれが健康、親睦など色々な行事を行い、頑張っていることはご存知のことと思いますが、残念なことに会員数が年々減少していることが、悩みの種であることをお知らせしておきます。

喜びや悩みをＰＴＡとともに

若葉小学校ＰＴＡ会長　中山　淳嗣

今年度より若葉小学校ＰＴＡ会長を務めることになりました中山でございます。至らない点も多々あることと思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

震災による休校も、校長先生を筆頭に諸先生方の不断の努力により開校することができましたが、平穏な生活を取り戻すにはまだしばらく時間がかかるかもしれません。このような時だからこそ学校や保護者、地域とのネットワークの輪を広げ喜びや悩みを共有していけるよう、ＰＴＡを活用していただければと思います。

若葉小の子供たちのために快く役員、委員を引き受けてくださった方々とともに、微力ですが役職を勤めさせていただきます。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

復興に頑張る健軍商店街

健軍商店街　理事長　森田　憲一

私たち 53 店舗からなる健軍商店街は、あの未曾有の大震災後めげることなく立ち上がり、お客様のニーズにお応えできるようにと一丸となって頑張っております。

核となるサンリブ健軍店倒壊後は人通りも減少し何かとご不便をお掛けし心苦しく思っておりましたが、今では少しづつですが元の人波に戻りつつあるようです。商店街の復興復旧には組合員一丸となって努力してまいります。壊れたアーゲートの改修工事も９月12日より始まり、12月初旬には完成の予定です。サンリブ健軍店も来年 8 月には再建開店されると聞きおよんでおります。その日まで力いっぱい頑張る私たち健軍商店街＜ピアクレス＞をなにとぞご贔屓くださいますよう、お願い申し上げます。

民生委員への相談は秘密厳守

民生児童委員協議会　会長　齋藤　武臣

私、齋藤は［若葉だより］発刊と同時に民児協を退任致します。８年余にわたるご協力有難うございました。紙面を借りてご挨拶申し上げます。民生委員は社会奉仕の精神を持って、住民の立場に立って相談に応じ、その人らしい自立した生活が出来るよう支援を行っており、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会作りを目指しています。

また、私達が職務を遂行するに当って、その一身上の問題に介入することが多く、要援護者等の生活上、精神上、肉体上の秘密に触れることが多々ありますが、その知りえた秘密については、固く守ることが義務付けられておりますのでご安心下さい（民生委員法第 15 条で守られています）。

若葉の現状と活動をＰＲ

東区広報サポーター　小林　宏

平成25年11月に発足した熊本市東区広報サポーターは、東区18校区の様々な情報を区民の皆様にお伝えするための広報紙「ひがっぴぃだより」の広報員です。若葉校区は第２号で紹介しました。ご覧になったでしょうか。

今回、若葉校区にも各町内の実情、各部会の活動状況を校区の方々に知っていただくための広報紙が必要ではないかという意向が高まり、今回テストケースとしてご覧のような４ページではありますが、町内、各種団体の活動を紹介致しました。

ご意見ご感想をお寄せいただければ幸甚です。